

2021 年度事業計画書

(2021 年 5 月 1 日から 2022 年 4 月 30 日まで)

一般社団法人つくろい東京ファンド

当法人の目的を達成するために、関連諸団体・個人と連携をとりつつ、次のとおり事業を実施する。

1. 個室シェルター「つくろいハウス」等の運営

- 1) 各生活困窮者支援団体と連携をしながら、個室シェルター「つくろいハウス」(中野区)を年間通して運営する。
- 2) 「つくろいハウス」の近隣地域に借り上げ住居を確保し、退所者等への居住支援を実施する。
- 3) 必要に応じて、個室シェルター入居者及び退所者への安否確認、福祉・住宅等の相談及び食料支援を実施し、他の生活困窮者支援団体等と連携をしながら入居者・退所者が安定した生活をおくれるための支援をおこなう。
- 4) 2020 年度に新たに借り上げた個室シェルターは、生活支援スタッフの体制を踏まえ、居室数を調整する。

2. 「カフェ潮の路」等の運営

ホームレス経験者の居場所づくり、仕事づくり及び地域住民との交流の場をつくるため、「カフェ潮の路」、焼きいも作り、古書店「潮路書房」の 3 事業を実施する。

3. 生活困窮者支援をおこなう各団体や個人と連携した各種支援事業

NPO 法人 TENOHASI、認定 NPO 法人ビッグイシュー基金、「LGBT のハウジングファーストを考える会・東京」、新型コロナ災害緊急アクション等、生活困窮者支援をおこなっている団体や個人と連携し、コロナ禍で住まいを失った人への緊急支援や相談会、空き家・空き室を活用した居住支援、生活困窮者が通信手段を確保するための「つながる電話プロジェクト」、「フミダン」等の事業を実施する。

「ことといこども食堂」の再開は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて判断する。

4. 「東京アンブレラ基金」の運営

2019 年度に実施したクラウドファンディングにより設立した「東京アンブレラ基金」を協働団体との連携のもと、運営する。

5. 広報

ウェブサイトや SNS による発信を積極的におこなう。

6. ファンドレイジング

当法人の事業資金を調達するため、寄付金募集や助成金申請をおこなう。